

単元名 100までの かずの けいさん

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 数構成に基づくたし算・ひき算の計算の仕方を理解し、100までの数のたし算、ひき算ができる。
 (2) 数構成に基づいて、たし算、ひき算の計算の仕方を考えることができる。
 (3) 数構成に基づいて、たし算、ひき算ができるよさを知り、進んで用いようとする。

標準的な展開例

01040306_001

【準備等】数え棒

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (何十)±(何十)の計算の仕方を考える。[p. 152]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★(なん十)+(なん十), (なん十)-(なん十)のけいさんのしかたをかんがえよう。 ○ (何十)+(何十)の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ (何十)-(何十)の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 (何十)+(何)の計算, (何十何)-(何)の計算 (答えが何十)の仕方を考える。[p. 153] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 2けた+1けた, 2けた-1けたのけいさんのしかたをかんがえよう。 ○ 2桁(何十)に1桁をたすたし算の計算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 2桁から1桁をひくひき算の計算(答えが何十)の仕方を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 (何十何)+(何)の計算(繰り上がりなし)の仕方を考える。[p. 154] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 2けた+1けたのけいさんのしかたをかんがえよう。 ○ 2桁に1桁をたす, 繰り上がりのないたし算の計算の仕方を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 25+10の計算を考える。</p> <p>4 (何十何)-(何)の計算(繰り上がりなし)の仕方を考える。[p. 155] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 2けた-1けたのけいさんのしかたをかんがえよう。 ○ 2桁から1桁をひく, 繰り下がりのないひき算の計算の仕方を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 ○ 36-10の計算を考える。</p>	<p>・ 10までの数の合成, 分解を想起させ, 10のまとまりを合成したり分解したりすることをつかませる。</p> <p>・ 10のまとまりの数を意識させて計算をさせる</p> <p>・ 数えたしている児童には, 10の束を意識することで, 既習の1桁の計算が使えるよさを知らせる。</p> <p>・ 10のまとまりの数を意識させて計算をさせる</p> <p>【評】計算問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 数え棒の操作を通して, 計算の仕方をイメージ化する。</p> <p>・ 一の位の数え棒を操作させることによって計算の仕方をつかませる。</p> <p>・ 一の位の数え棒を操作させることによって計算の仕方をつかませる。</p> <p>【評】計算問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 数え棒の操作を通して, 計算の仕方をイメージ化する。</p> <p>・ 一の位の数え棒を操作させることによって計算の仕方をつかませる。</p> <p>・ 発展的な内容のため, 児童の実態に応じて取り組ませる。</p> <p>【評】計算問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 数え棒の操作を通して, 計算の仕方をイメージ化する。</p> <p>・ 一の位の計算棒を操作させることによって計算の仕方をつかませる。</p> <p>・ 発展的な内容のため, 児童の実態に応じて実施する。</p> <p>【評】計算問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p>

【備 考】

本単元は, 簡単な2桁の数の加法, 減法の計算を学習する。2桁の数の構成に基づいて, 計算棒の操作活動を取り入れて指導することが大切である。